



2016

9/7 (Wed) - 9 (Fri)

@ 京都リサーチパーク



sds2016_culture

京都大学サマーデザインスクール 2016 推奨テーマ「文化」

「京都大学サマーデザインスクール」は、これまで1,200名以上が参加してきた、3日間集中のデザインワークショップ。本スクールでの「デザイン」とは、意匠デザインばかりではなく、社会のシステムやアーキテクチャのデザインも含まれます。様々な分野の参加者と実施者がテーマに分かれ、社会の実問題に真剣に挑みます。京都大学サマーデザインスクール2016で、今年の夏を締めくくりましょう。

□推奨テーマ「文化」

- 01 聴く「京都」、聴かせる「京都」
- 02 「愛着」のサステナビリティ ～京都市内の廃村をフィールドに
- 03 「デジタルで温故知新」～新たな京都の観光を創造する～
- 04 外国人が求めている「日本食」とは？～日本食のグローバル化に向けて～
- 05 企業価値向上のための文化財の活用方法を考える
- 06 IoT時代の「新・食文化創造」
- 07 手間をかけさせてくれるキッチン(不便家電は文化の匂い)
- 08 日本人の「素」のデザイン ～俳句のように自分の主観を差し挟まないデザイン～
- 09 個人主義でもいじゃない
- 10 目的訪問型では出会えない都市文化の発見・気づきをもたらす方法とは？
～日本庭園を事例として～

- 11 ジュガード・イノベーションに学ぶ、身近でFrugalな商品企画
- 12 体験の記憶を作る：博物館をフィールドにして
- 13 外国人と共生する街 ～2025年の京都を考える
- 14 チャリ禁止令！あなたならどうする？
- 15 京都のまちの災害文化をデザインする
- 16 外国人のおもてなしをする接客業におけるサービスデザイン
- 17 Love and Death as Cultural Challenge
- 18 和文化で育まれた生活用具を今日のアイテムとしてデザインする
～フィジカル・プロトタイプングの実践を通して～
- 19 言語が違っても世界が同じに見えるわけ
- 20 文化都市京都のデータデザイン！
- 21 差の湯の会 ～お茶室で語る科学～
- 22 天才？芸術家を生み出す文化政策

□自由提案テーマ

- 23 西陣をアート&クラフトで再生する！～デンマークの知見と経験を活かして～
- 24 すべての子どもたちのためのプログラミング、批判的・創造的に考えよう
- 25 正しいデザインの発注の仕方
- 26 楽しい監視社会
- 27 これからの多様な住まい方について
- 28 「やる気」コントロールの方法を考える
- 29 「測って、分かって、育てる」ためのQOL評価を考える
- 30 データサイエンティストの役割発見
- 31 リアルタイムな観察記録表現伝達のクロニクル
- 32 流行のIoT技術で「こんなことできたら楽しいな」を考えてみよう
- 33 京都の中小企業の魅力発信 ～企業の魅力を見て、感じて、それをカタチにする～
- 34 地面について
- 35 小学校をリデザインする ～京都だからこその学びの場とは？～
- 36 睡眠医療介護福祉系人材に対する働き方提案に基づく求人広告のデザイン
～総活躍社会という語感のもつ曖昧さを消滅できるか？～
- 37 「阿吽の呼吸」で空気を読む対話キッチンとは

過去最多
37テーマを実施！

参加費： 1,000円 (学生、デザインイノベーションコンソーシアム会員、主催共催団体の大学教職員)
10,000円 (一般)

申込方法： 下記 web サイトより(先着順)
<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2016>



主催 京都大学 デザイン大学院連携プログラム / 京都大学大学院 情報学研究科 / 京都大学 経営管理大学院 / デザインイノベーションコンソーシアム
共催 京都大学大学院 工学研究科 / 京都大学大学院 教育学研究科 / 京都大学 学術情報メディアセンター / 京都市立芸術大学 美術学部・美術研究科 / 京都工芸繊維大学 工芸科学研究科